

## 群馬大学昭和キャンパス管理一体型 ESCO 事業提案審査の講評

群馬大学では、平成 22 年 10 月に「群馬大学エネルギー管理規程」を定め、エネルギーの使用の合理化及び温室効果ガス排出抑制の推進に取り組んできました。

本学では、さらに省エネルギーの推進、環境負荷の低減及び光熱水費等の効果的な削減を図るため、民間のノウハウ、資金、経営能力及び技術的能力を活用する ESCO(Energy Service Company) 事業を導入し、省エネルギー改修及び施設管理等において優れたノウハウを有する ESCO 事業者の提案により、シェアード・シェイピングス契約（民間資金活用型）の管理一体型 ESCO 事業を実施する計画です。

先般、広く事業提案を募集したところ 2 企業グループから事業提案が提出され、群馬大学昭和キャンパス ESCO 事業委員会は、これらの提案書に基づいた各企業グループのプレゼンテーションにより、技術提案審査要項に則り厳正かつ慎重に審議した結果、次のとおり選定しました。

最優秀提案（優先交渉権者）：三菱 UFJ リース(株)を代表とするグループ

優秀提案（次選交渉権者）：日本ファシリティ・ソリューション(株)を代表とするグループ

最優秀提案は、施設管理の最適化・省エネ対策等の内容や根拠に妥当性があり、省エネ効果等に加えて大学の保証利益総額が大きいこと、多彩な実績を生かした大学及び病院の運営に配慮した全体としてバランスの良い提案であることなど、本学の公募要項に沿った提案と高く評価しました。

優秀提案は、環境対策が考慮され二酸化炭素の削減効果が高いこと、信頼性のある事業・資金計画であること、ITC 活用・遠隔監視等による先進的な取り組みなどが、優れた提案であると評価しました。

今回の募集に際しては、既存設備の施設管理が含まれ、大学及び病院を踏まえた省エネ対策及び運用改善・施設管理等の見える化や効率化、災害時等の緊急事態に配慮した計画等の提案を要請しました。各々のグループからはこれに応じた様々な設備更新計画、運用改善や施設管理手法等の提案があり、省エネルギー、二酸化炭素削減及び光熱水費等の効果的な削減につながる先進的で意欲的な優れたアイデアが提案されました。

本事業の実施にあたり、こうした高い技術力と優れたアイデアに基づいた貴重なご提案をいただき、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者の皆様に心から敬意と感謝の意を表すと共に、御礼を申し上げます。

平成 31 年 3 月 15 日

群馬大学昭和キャンパス ESCO 事業委員会  
委員長 栗山 雅秀